

## 1 渡辺 竜彦 議員（志政会）

### （1）坂井市の防災計画・防災対応の在り方は

- ・市では災害時における避難発令をどのように行っていくのか。
- ・安否確認を迅速に行うためにも、不明者公表は行うのか。
- ・災害時における災害ごみへの対応は。
- ・避難所の受け入れ体制を含めた運営マニュアルはどのようになっているのか。
- ・災害時の高齢者および要支援者の避難対策は。

## 2 南川 直人 議員（志政会）

### （1）音楽における人とロボットの共生と科学技術

- ・児童減少により、人数が足りないがために、クラブ活動やサークル活動ができない場合がないか。また、市内19小学校に鼓笛隊など演奏できるクラブはあるのか。
- ・市産業フェアに出展されていた福井大学先端マテリアル創造ものづくり研究室が開発した「MUSICROBOT」を活用することにより、少人数の児童でもロボットの生演奏と共に、ロボットの演奏を活用し、合奏が楽しめるチャンスを得ることができるようになると思うがどうか。
- ・小学校でプログラミング教育が必修化される中、児童が身近に接することができる科学技術、とりわけロボットなどに興味を持てる工夫を小学校に取り入れる考えはないか。

### （2）防災インフラの重要性と避難指示

- ・本市のハザードマップ上での土石流特別警戒区域は、砂防ダムなどの、減災を目指したハード整備により災害リスクを減少できるものなのか。また、国土強靱化地域計画が求められる中、市内橋梁などの点検整備はどうか。
- ・例えば、2017年7月、大雨特別警報が出た九州、朝倉市などにおいて、避難指示、勧告の対象となったのは合計51万7900人であったが、実際に避難したのは3,425人（0.66%）であった。本市において避難指示が出された場合住民をどう誘導するのか。
- ・防災気象情報の警報や特別警報と、市が出す避難勧告や避難指示（緊急）の区別がはっきり分かっていない住民も多いと思われる。どのように告知するか。また、ハザードマップは住民にとって避難場所や避難経路、自身の地域の情報を把握する参考書であるが、今後より分かりやすく、身近なものとするためにはどうするか。

## 3 山田 秀樹 議員（志政会）

### （1）定年制の延長について

- ・定年制の延長に伴う現況の所見を伺う。
- ・再雇用を行っている坂井市の現在の状況と、その課題について伺う。

- ・定年を迎えた市民の長年培った技能や知識が、市政に活かせる方策として、防災チームやICT推進などを検討するためにプロジェクトチームを立ててはどうか。
- ・一般企業において定年を迎えた技能者の活用が有効ならば、市主導による企業向け人材バンクの登録・斡旋を検討してはどうか。

#### 4 後藤 寿和 議員（志政会）

##### （1）個人番号カード、マイナンバーカードの普及と利活用について

- ・マイナンバーカードの現在の普及率は。
- ・マイナンバーカードを取得することで、市としての利活用は何ができるのか。
- ・マイナンバーカードのメリットとデメリットをどのように考えているのか。
- ・今後普及すると見込んで、市としてどのようなサービスを展開していくのか。またどのようなサービスの可能性の広がりを考えているのか。
- ・マイナンバーカード普及の施策や支援は。また、普及率を上げる施策を考えているのか。
- ・マイナンバーカードを取得することで、市民にはどのような特典があるのか。

#### 5 戸板 進 議員（志政会）

##### （1）今後の地域包括ケアシステムの取り組みについて

- ・フレイルサポーターやフレイルトレーナーを養成し各地区においてフレイルチェックを実施しているが、その後のケアプランが必要と考えるが、どのように取り組むのか。
- ・本年度から実施される保険者機能強化推進事業の広域連合との関係及び今後どのように取り組むのか。
- ・これだけの予防事業を市が実施するには、現状の職員数で足りないのではないか。また、今後の地域ケアシステム強化のため、市は組織的にどのように取り組むのか。

#### 6 川畑 孝治 議員（政友会）

##### （1）庁舎建設を遅らせては

- ・庁舎の建設は、建築物資の高騰を考え遅らせては。

##### （2）環境問題について

- ・市としての地球温暖化の取り組みについて。
- ・エコサポーターの養成について。
- ・中国の廃棄物輸入禁止による影響は。

##### （3）サンセットビーチの拡幅を

- ・サンセットビーチの拡幅を。

#### 7 佐藤 寛治 議員（政和会）

##### （1）高齢者が利用しやすいコミュニティバスの運行について

- ・平成29年度のコミュニティバス利用者のうち、高齢者は何人で全体に占める割合はどれくらいか。

- ・自動車運転免許証返納者に対し優遇措置があるが、返納者は何人で高齢者の免許証保有者の何%にあたるか。また、現在の優遇措置で十分と考えているか。
- ・高齢者のコミュニティバスに対する要望・意見を把握し、十分に対応していると考えているか。
- ・2025年問題も含め高齢化する本市において、これまでの運行形態やルートを変更する考えはあるか。

(2) 産前・産後ケア事業の実施について

- ・産前・産後ケアをどのように考えているか。
- ・産前・産後ケア事業を実施することで、子育て環境を充実させることとなり人口減少対策にもなると思うが産前・産後ケア事業の実施の考えは。

## 8 三宅 小百合 議員（政友会）

(1) 冬季防災訓練について

- ・冬季に防災訓練を実施してはどうか。
- ・防災訓練において宿泊体験を実施してはどうか。

## 9 前川 徹 議員（政和会）

(1) 高校生の郷土愛の醸成について

- ・坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、地元の高校における郷土愛の醸成に関する取り組み内容とその成果、課題は。
- ・PTA、学校、企業、自治体が連携して高校生のふるさと愛着を醸成し、地域の活性化を図る「あわら坂井ふるさと創造推進協議会」が発足したが、今後の展望は。
- ・公立高校を核に、地域を支えていく人材を育成する文部科学省モデル事業に取り組んでみてはどうか。
- ・地方創生、地域振興の観点から、高校生が地域の大人と共にソーシャルビジネスの展開により地域の課題を解決していく「地域ビジネス創出事業」に取り組んでみてはどうか。
- ・地域振興の核として高校が位置付けられる中、地元進学率を向上させるためには、地元出身者が多く通う坂井・あわら地区の高校と自治体とが連携した地域学習のほか、通学環境や公共施設利用などの利便性を図る必要があると考えるが。
- ・地域との結びつきの連続性を図るために、坂井市PTA連合会と市内高校PTAとの交流を考えてみてはどうか。

## 10 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団）

(1) 幼児教育無償化に伴い、自治体としてのやるべき対策は何か

- ・市においては現在、待機児童はいないとのことであるが、無償化に伴い待機児童は増える可能性はあるのか。
- ・2号認定における短時間保育の延長も無償になる。短時間保育から標準時間に変更することも出てくる可能性があるのでは。

- ・園児数が増えた場合、保育士不足はさらに深刻になる。非正規職員などの処遇改善と正規職員の比率を上げることが求められる。
- ・保育料が無償になっても、給食費用は除かれる見通しである。そうなると、給食費は実費を支払うことになり、負担が増える家庭が新たに生じかねない。どのように対処していくのか。
- ・財源について、公定価格における市負担分はどうなるのか。

## 1 1 近藤 哲行 議員（政立会）

### (1) 防災対策について

- ・先日、防災訓練があったが、市民からの声はどのような声が上がってきたのか。
- ・これからの防災対策でドローンは不可欠なものと考えられるが、今現在、市所有のドローンは何機あるか。
- ・先日、簡易トイレの紹介があったが、地区ごとに設置することをアピールしてはどうか。
- ・危機意識を持ってもらうために、市民に毎年防災グッズの有無のアンケートを取ってはどうか。

## 1 2 田中 千賀子 議員（政和会）

### (1) ごみ減量化と循環型社会の形成について

- ・ごみ分別の推進について。
- ・デポジット制度について。
- ・生ごみの有効利用の推進について。
- ・廃食油の回収、利用促進について。
- ・紙オムツのリサイクル回収について。

### (2) 観光を中期的な視点で、市の発展、地域力の向上に

- ・観光ネットワークづくりと人材育成について。次世代へ市の観光産業を残していくためには、人材を育成することも推進していかなければならない。
- ・「ふるさと学習」の充実。部活動に観光部会を新設して、地域に愛着を持って暮らしていけるように。
- ・空き家バンクを活用し、クリエイターや芸術家、学芸員等が共同で仕事をしながら住める場所を整備できないか。

## 1 3 松本 朗 議員（日本共産党議員団）

### (1) 北陸新幹線延伸において、在来線の特急存続を求める

- ・フリーゲージトレインの導入断念をどう受け止めるか。
- ・金沢一敦賀間で特急が廃止になった場合、地域経済、観光にどう影響があると推定するか。
- ・新幹線延伸後も、特急存続を関係機関に働きかけ、県民、市民の利益を守ること。

### (2) 国民健康保険税改定に伴う市民の影響とその判断

- ・当初予算の見込みは、予算編成時の想定通りになっているか。
- ・来年度の予算編成に向けて、明らかになった点は何か。
- ・29年度決算で実質単年度収支が、大きく黒字化された要因は何か。
- ・来年度予算編成で、国保税引き下げの可能性が出てきたのではないか。

### (3) ユニバーサルデザインの促進

- ・市として、ユニバーサルデザインの推進の考え方はどうなっているか。
- ・JR春江駅舎の改築、JR丸岡駅のエレベーター設置、えちぜん鉄道のバリアフリー化、車椅子で移動できる歩道の整備等の計画はどうか。
- ・まちづくりの基本として、推進するための計画が必要ではないか。

## 14 永井 純一 議員（公明党）

### (1) 森林環境譲与税について

- ・市における森林の現状分析や関係者の方々との話し合いなどで、使途を決めていかなければならないと思うが、取り組みはどのようになっているか。
- ・わが市の今後の公共建築物などに、木材利用の促進を図っていくべきと思っているが、市の考えを伺う。

### (2) アピアランスケアの支援について

- ・がん患者社会参加応援事業として、市による医療用ウィッグ、胸部補正具などの購入費の助成に取り組んでほしいと思う。

### (3) 高齢者肺炎球菌ワクチンについて

- ・坂井市における対象者と接種者数、接種率は。
- ・健康寿命の延伸、医療費削減効果が大きいことから、接種率を向上させることが重要である。そのため、接種を逃した人も含め、市独自の救済措置を講ずるべきと思うがいかがか。

## 15 辻 人志 議員（政友会）

### (1) 砂場遊びで子どもの想像力養成を

- ・砂場遊びのメリット、デメリットをどう考えるか。
- ・市内の幼保園・こども園等における砂場遊びの現状は。
- ・市が管理している公園の砂場について、定期的な清掃や動物・異物の侵入防止、砂の入れ替えなどを行っているか。
- ・既存の施設の空きスペースを活用し、子どもたちが天候に左右されず厳冬期や猛暑日でも砂場遊びができるような屋内砂場を整備してはどうか。

### (2) 主要地方道芦原丸岡線の延伸を

- ・地区住民の交通利便性の向上や交流人口の拡大、災害に強い交通体系の確保などのため、金津地区から芦原街道まで通じている主要地方道芦原丸岡線を、三国地区まで延伸する計画を推進すべきと考えるが見解は。

## 16 川端 精治 議員（志政会）

### （1）国が推進する地域未来塾の開設について

- ・現在、市が行っている就学援助世帯、ひとり親家庭の学習支援の現状と課題は。
- ・市内中学生の高校への進学率は。
- ・国は地域未来塾を平成31年度までに全国で5,000中学校区に展開する目標を掲げている。市として、地域未来塾による学習支援事業を今後展開していく考えはあるのか。